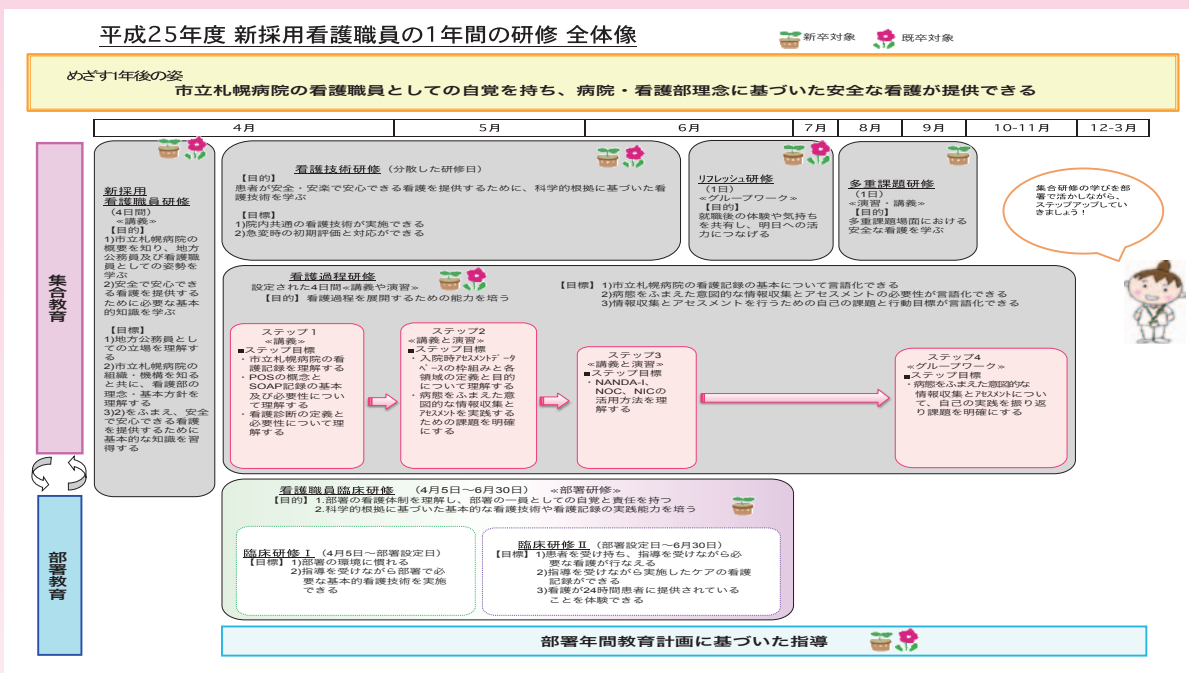


市立札幌病院における「新採用看護職員研修【看護技術研修】」のご紹介

当院の看護部は、「私たちは『科学する眼』と『確かな技術』で心の通う看護を提供します」を理念とし、患者さん・ご家族と信頼関係を構築した心の通う看護を実践するために熟練した技術は不可欠であるという考えから、看護技術の指導・教育に力を入れてきました。新採用看護職員を取り巻く基礎教育の変化と医療現場の急激な変化に対応するために、平成14年に採

用時の看護技術研修を開始し、翌年にリアリティシミュレーション対策として採用3ヶ月に院外でのリフレッシュ研修、そして平成20年より新採用看護職員臨床研修を開始しました。現在は、下記の図に示した体制で、集合教育と部署教育を連動させながら、1年間の教育をおこない、4~6月で看護技術の集合教育を行っています。



看護技術研修は「科学的根拠に基づいた安全な看護が実施できるようになってほしい」というねがいで企画し、研修目標を1.院内共通の看護技術が実施できる2.急変時の初期評価と対応ができる、の二点としています。今年度は、「移乗・移送/モニター/酸素療法/感染対策/導尿・陰部洗浄/口腔ケア/血糖測

定・インスリン注射/静脈採血/静脈内点滴/体位変換・更衣/CVカテーテル管理」「急変時の対応」の12の看護技術について研修を実施しました。集合教育では、どの部署においても基本的な看護技術が確実に提供できるよう、当院の看護手順を基にシミュレーターを活用しながら、より実践に即した状況設定で技術を習得していきます。更に、一つ一つ学んだ技術を患者さんの看護とおして実践し、確実に身につけていくためには、集合教育後の継続した指導が重要です。看護技術の習得を目指して、研修の企画・運営と部署での指導の中心を担っているのは各部署の看護技術サポート委員です。院内研修全体の企画・運営を行っている研修委員会の下部組織として位置づけ、毎月の定例会議において、部署の新人の状況の情報交換と看護技術の習得状況の評価等を行っています。今年度の看護技術研修については目標1・2ともに95%以上の達成度でした。4月は初々しかった新採用看護職員も様々な支援を受けながら、着実に一步一步成長しています。

また、今年度新たな取り組みとして、5月より新採用助産師研修を開始しました。新人助産師の知識・技術習得のための企画で3月まで毎月開催しています。1月・3月の研修は連携施設の皆様にも公開していますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。



シミュレーターを活用しながらの技術研修